

## 飛驒山脈ジオパーク構想 ジオサイト（第2章）

飛驒山脈は北アルプスのこと？

「飛驒山脈という呼び名は正式名称です」というと「えっ、そうなの、知らなかった」という人が意外と多くいます。むしろニックネームとでもいべき「北アルプス」の方が通りがよいようです。アルプスという呼び名は、イギリスの鉱山技師ウィリアム・ゴードンが、飛驒山脈・木曾山脈・赤石山脈がヨーロッパのアルプス山脈に似ているとして「日本アルプス」と呼んだ（1881年）ことがその始まりです。その後「アルプス」やヨーロッパなどへの憧れもあり、次第に本名の影が薄れ、今日にいたっています。しかし、この山脈の主役である槍穂高連峰や笠ヶ岳・黒部五郎岳などの山並みが、飛驒側の高山盆地からよく見渡されるため飛驒山脈と命名されたのです。

この飛驒山脈は、本州中部にはほぼ南北に連なる山岳地帯の北部にあつて南端の御嶽山から岐阜県（飛驒）・長野県・富山県・新潟県の境に沿って日本海沿岸の親不知付近にまで達する大山脈です。南北

約100km、東西約30kmにわた  
り、標高3,000m級の高峰が  
立ち並んでいます。また、氷  
河が作り出したカール（笠ヶ岳  
など）や氷食尖峰（槍ヶ岳穂  
高連峰）が多くみられます。

飛驒山脈は、世界に類を見  
ない速さで隆起してきました。  
また、焼岳をはじめとした多  
くの活火山があり、豊富な温  
泉にも恵まれています。このよ  
うに魅力たっぷりの飛驒山脈に  
ついてみどころを順次紹介して  
いきたいと思えます。

（飛驒地学研究会 下畑五夫）

